

RICHARD MILLE SUZUKA Sound of ENGINE 2018 1998年・1999年F1世界チャンピオン ミカ・ハッキネンの来場が決定

株式会社モビリティランドは、2018年11月17日（土）・18日（日）に鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で「RICHARD MILLE SUZUKA Sound of ENGINE 2018」を開催いたします。

この「RICHARD MILLE SUZUKA Sound of ENGINE 2018」に、1998年、1999年F1世界チャンピオンの、ミカ・ハッキネン氏の来場が決定しましたので、ご案内いたします。今年の鈴鹿F1日本グランプリ30回記念大会にも来場されたハッキネン氏。「日本のファンにもっと会いたい」というご本人の想いから、今回の来場が決定しました。

本イベントにおいては、11月17日（土）・18日（日）の各日に、VIPスイート・プレミアム、GPスクエア内でのトークステージ等への出演を予定しております（F1マシンへ搭乗してのデモ走行はございません。出演時間の詳細は決定次第ご案内いたします）。

ミカ・ハッキネン

1990年のマカオGP（F3）でミハエル・シューマッハと激戦を展開。翌年ロータスからF1デビュー。1993年マクラーレンに移籍して日本GPで3位となり、初の表彰台を獲得。1995年の最終戦で重傷を負ったが、翌年復帰。1997年に初優勝すると、1998年と1999年にシューマッハを擁するフェラーリとの激戦を制してチャンピオンとなる。2001年でF1を引退。温厚な人柄から多く尊敬を集め、現在も多方面で活躍中。



2度目の年間チャンピオンを獲得した、
1999年F1日本GP表彰台



2018年F1日本GPでのトークステージ

RICHARD MILLE SUZUKA Sound of ENGINEとは

1962年に日本初の本格的な国際レーシングコースとして開場した鈴鹿サーキットは、2012年に50周年を迎え、次の50年に向け新たなスタートをきりました。鈴鹿サーキットは、この歴史的価値を絶やすことなく維持し続けるために、モータースポーツが持つ貴重な歴史にスポットライトを当てた本ヒストリックイベントを、2015年より開催しています。

鈴鹿サーキットでのF1日本グランプリ開催以前の、ヒストリックF1マシン20台が集結し、公式レースを初開催する「**Masters Historic Formula1 in JAPAN**」、今なお伝説として語られるメーカーの威信をかけて開発されたモンスター「**Group C**」、過去の鈴鹿F1日本グランプリに出走した「**Legend of Formula 1**」、日本のモータースポーツの原点である1960年代を駆け抜けた、生粋のレーシングカー「**60's Prototype Racing Car**」たちが、時空を超えて鈴鹿サーキットに集結します。

なお、本イベントの前売チケット（大人1日券：2,500円、2日券：3,500円）は、9月23日（日・祝）より販売中です。

各チケットの特典等の詳細は、公式ウェブサイトをご確認ください。

<http://www.suzukacircuit.jp/soundofengine/>

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6430 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>